

<ひとこと> W杯は日本中が感動、盛り上がりましたね。私は韓流スターの訃報に、涙しました。

平成22年度 あいネット運営委員会

柏市保健福祉部 福祉政策室

今年度の運営委員会は、年4回開催する予定です。毎回、市の関係各課をゲストスピーカーとしてその課の役割や現状を具体的にお話しいただき、意見交換をしていきます。第1回は「福祉政策室」。今年度できたての新しい部署です。以下お話を抜粋します。

- (柏市保健福祉部) 福祉政策室の機能
- 個別事業を持たず、部の官房機能を有する。
- このため、保健福祉部をして政策提言・実行するにあたり、各課を超えた政策提言と各課政策の調整を実施。(部内の課横断的取組の推進)
- 市全体が直面する課題に対しては、部を超えた対応も必要となる。例えば、高齢化進展を踏まえた高齢者の生活のあり方の検討など。

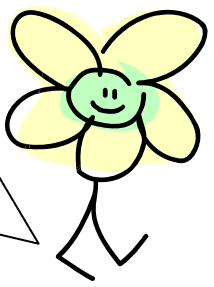
そのため、3部1所(市民生活部、保健福祉部、児童家庭部、保健所)による健康福祉分野連絡会議を開催。それにより、同じ考え方の下、要求や立案を行うことにより、庁内縦割り行政を打破するとともに、より効果的に議論を行うことができるといった考えに基づいているとのこと。

また、東大・UR・柏市が研究会を開催し進められている豊四季台地域の再構築は政策室が関わっているとのこと。平成22年4月で高齢化率は40%を超える豊四季台地域で地域包括ケアシステムの具体的な構築を検討していること。



在宅医療、医療と福祉の連携、多様な住まいとモビリティ、就労や生きがい、年齢や障害の有無を問わず、必要なこと・ものです。個人の意見としては高齢者だけでなく、年齢や障害の有無を問わず、必要なこと・ものです。また地域に暮らす人だけでなく多様な人を誰も排除しない。されない地域づくりの実現をぜひ目指してほしいものです。各委員の方々からも、このようなまちづくりが、柏の他地域にも広がってほしいなど、意見がありました。

《平成22年度 あいネット運営委員会》
 第2回 9/15(水) 『秘書広報課について』
 第3回 12/15(水) 第4回 2/16(水)
 ※内容は検討中です。生活支援課など、日頃あいネットがお世話になっている機関をお呼びする予定です。



柏市要保護児童対策地域協議会 代表者会議開催

平成22年度のスタートになる代表者会議が開催されました。事務局を除き、総勢28名のうち、外部機関が14ヶ所、市内が14ヶ所の内訳で、それぞれ代表者と実務担当者を選出しています。

今年度すでにケース連絡会は、保健所要保護児童ケース連絡会が月2回、児童相談所ケース連絡(3ヶ月に1回)のペースで開かれ、主任児童委員の各ブロック情報交換は年内ですべて開催されます。その他、個別ケースは随時開催、実務担当者会議も年3回、要保護児童進行管理部会年4回と、毎月複数の会議や連絡会が開かれることになっています。

当日、①柏児童相談所と、②柏市家庭児童相談室より平成21年度の児童相談の状況の説明がありました。

障害者相談支援連絡会に参加。 ～「最後の砦」であり続ける人達～

昼夜問わず、市民の「最後の砦」であり続ける人達があります。消防署の救急隊員、指令センターの方々です。

六月十一日(金)に沼南消防署の会議室にて障害者相談支援連絡会が開催され、沼南消防署の救急隊員、指令塔の方々から貴重なお話を聞く事が出来ました。参加したのは沼南育成園、障害福祉課、保健予防課、たんぽぽセンター、あいネットの職員でした。

最初に障害福祉課から出された事例について救急隊員、指令塔の方々とは緊急性のある方々の対応をするのが常です。飲んでいる薬、疾病の重症度、病院の受診歴や家族との関係性について等、鋭い視点からの質問が印象的でした。

救急隊員、指令センターの方々から現場で苦労されているお話を聞く事が出来ました。

救急隊員「精神病院を探すが大変になった。現場で二、三時間かけて探すこともある。夜間はかかりつけの病院から断られる事もある。アルコール依存症の方はお酒を飲んでいると入院を断られる。」

指令センターの方「心に病気を抱えている方から電話があると、元気が付くのか、話を切つてよいのか対応の仕方に困る事がある。ここは最後の砦。救急隊が行って、見て、話を聞いてみないと分からない。」

私達の暮らす街で、市民のSOSに誰よりも早く駆けつける救急隊員と指令塔の方々。最後の砦として奮闘している姿をそこに見たような気がしました。今後は、消防署と障害福祉課を始めとした各機関が連携し、相談者の情報の共有化を図っていただける体制が必要であると強く感じた二時間でした。

最後に、救急隊の方々から皆様へのお願いです。

「ご高齢の方が迷子になられたり、倒れている方を保護した際、身元確認に困っています。襟の後ろに名前を書くようお願いいたします。」

① 柏市児童相談所より

東葛五市(松戸、柏、流山、我孫子、野田)の中で一番相談件数が多く、それは悪いことではなくそれだけ通報につながりやすいという意識があると考えられること、また柏市の特徴はここ数年の傾向として心理的虐待が他の市に比べかなり多いことです。それは警察が向かうDVの現場で心理的影響を大きく受けている子どもを発見し、警察からの通報が多いことが挙げられるとのこと。また、全体の特徴として主な虐待者を見ると以前は実母が圧倒的に多かったのが、今は実父の割合が上回っているという報告もありました。最近のニュースでも実父が起した深刻な虐待ケースが報道されているところでした。

② 家庭児童相談室の報告

要保護児童の中で就学前の子どもが50%以上を占め、育児ストレスあるいは、精神疾患を持つ保護者が半分以上を占めている。

* * * * *

家族形態として一人親が40%近いのは、経済的な面や育児への負担も大きく、虐待の発生予防のためにも虐待が起りうる状況を予測し、虐待をする側を孤立させない、眼や手を入れていくことが必要だと感じました。



福祉ショップ かるのこ

福祉ショップかるのこは、軽食喫茶をはじめ、コーヒーのデリバリー（ウェルネス柏内）、地域の人達の憩いの場として今年の4月にオープンしました。軽食喫茶は、10名の精神障害者の方がシフト制で就労しています。ホールスタッフ、厨房スタッフとして各1名ずつ、職員の方2名と共に午前、午後交代で働いています。さらに、手作りのお弁当の注文、配達も行っています。基本的には、ウェルネス柏内になりますが、要望があれば市内でまとまった個数での注文も可能とのことです。詳しくは、直接お問い合わせ下さい。

お店の雰囲気は、木漏れ日が差し込んでいて癒され、時間がゆっくりと感じられました。また、世話人の小池さんが選曲しているBGMが木漏れ日にマッチしています。コアなファンができるような予感です。「地域に住む全ての人達が集える福祉ショップかるのこ、ぜひ1度御利用ください」。



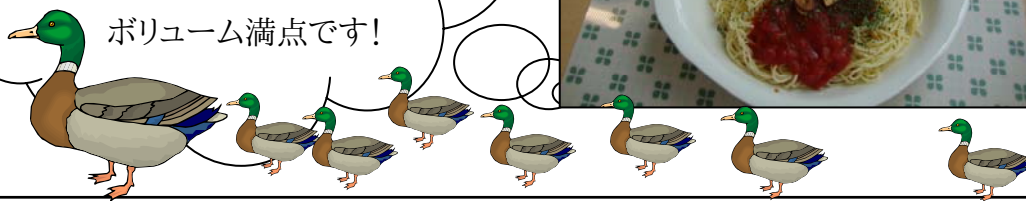
ウェルネス柏2階には『かるのこ』というオアシスがあります。



★一押し商品★

冷製パスタ（トマトソース）

これからの時期にぴったりで、ボリューム満点です！



<利用案内>

住所：千葉県柏市柏下 65-1 ウェルネス柏 2F
 開店日：月曜日～金曜日 9:00～16:00

問い合わせ先：

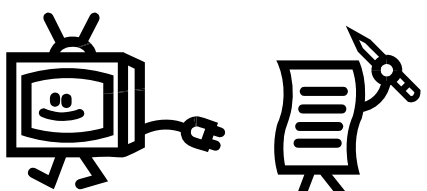
社会福祉法人よつば TEL/FAX: 04-7199-7931

福祉ショップかるのこ TEL/FAX: 04-7128-2230



おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
「障害のある生徒の普通高校進学と高校生活」 特別研修 講師： 吉永 馨 先生 千葉県立船橋法典高等学校教諭	7/17(土) 10:00 ～11:45	船橋市中央公民館 第2集会室 (JR船橋駅下車徒歩7分/ 京成船橋駅下車徒歩5分)	1000円 (資料代)	必要 (定員 30名) 〆切: 7/12(月)	主催:NPO法人ちばMDエコネット千葉県 コミュニティカフェ〈ひなたぼっこ〉 TEL/FAX:047-426-8825 メール:sun@mdeconet.jp
J-CAPTA 設立1周年記念 対談講演 今を生きる子供たち～その理解と支援 「事件の中に見る子どもの息苦しさ」 「発達障がいをつまづきにしないために」 講師： 青木 悦 氏 教育ジャーナリスト 田中 康雄 氏 児童精神科医・臨床心理士	7/24(土) 10:30 ～12:30	けやきプラザ・ふれあいホール (JR我孫子駅下車徒歩1分)	一般: 1000円 学生: 500円	必要	主催:一般社団法人 J-CAPTA TEL/FAX:011-666-8517 http://j-capta.org/ 協力/申し込み:CAPなのはな FAX:04-7107-7087 後援:朝日新聞厚生文化事業団
ステップアップ講演会・第10弾! 「自閉症・発達障害へのまなざし-地域でともに生活するために-」 講師： 佐々木 正美 先生 川崎医療福祉大学 教授	8/1(日) 13:00 ～15:30	アミュゼ柏 クリスタルホール 千葉県柏市柏 6-2-22 (柏駅東口より徒歩7分)	1000円 (資料代)	必要 先着 400名	柏市発達障害者支援協議会 〒277-0812 柏市花野井 720-124 NPO法人 自閉症サポートセンター 発達障害者支援室シャル内 TEL/FAX:04-7105-7200 メール:js-sien@jcom.home.ne.jp
けやきプラザ5年祭記念企画 絵・アニメ大好き、障害者の アニメ・イラスト自慢展 	開催日時: 7/27(火)～8/1(日) 開催場所: けやきプラザ2階(第2ギャラリー)	応募規定 ・障がいをお持ちの方(種別、手帳の有無、年齢は問いません) ・応募はひとり3点まで、サイズは自由 ・作品内容はアニメ・漫画・イラストなんでも結構です。 ※応募締め切り、7/15(木)までにFAXもしくはメールでお願いします。	問合せ・応募先: 沼南育成園サポートセンター 〒277-0921 柏市大津ヶ丘 2-19-5 TEL:090-3134-4936(市岡) メール:ichitake@nifty.com		